

福 projects - 55th anniversary exhibition - | 作品リスト

作家名	作品名	サイズ	素材		価格 (税込)
阿部ふみ Abe Fumi	花あふれる日	6F (41.0×31.8cm)	油彩、キャンバス		¥93,500
漆原夏樹 Urushihara Natsuki	瓢中満福図	6P 41.0×27.3cm	紙本彩色		¥220,000
大島真由美 Oshima Mayumi	Monkey Magic	43.7×33.3cm	紙本彩色 額装付		¥264,000
狩野宏明 Kano Hiroaki	打ち出の小槌とメタモルフォーゼ	26.7×41.0cm	水彩、鉛筆、箔、カシュー ミュー・グラウンド、綿布、パネル		¥154,000
神戸智行 Kambe Tomoyuki	ふくはそこにあるよ	6M 41.0×24.2cm	紙本彩色		¥462,000
北嶋勇佑 Kitajima Yusuke	しろへびとふくもの	6S (41.0×41.0cm)	木版モノタイプ 油絵具、黒紙、洋金箔		¥176,000
佐々木怜央 Sasaki Leo	Sense of wonder	H40.5×W25.0×D15cm	ガラス		¥275,000

<p>財田翔悟 Takarada Shogo</p>	<p>タコと招き猫</p>	<p>4F (33.3×24.2cm)</p>	<p>綿布、ピグメント、岩絵具 アクリル絵具、硫酸カルシウム、箔、墨</p>		<p>¥82,500</p>
<p>寺内誠 Terauchi Makoto</p>	<p>Dao Fu</p>	<p>6F (31.8×41.0cm)</p>	<p>パネル、綿布、油彩</p>		<p>¥154,000</p>
<p>野崎慎 Nozaki Chika</p>	<p>福結ぶ</p>	<p>4S (33.3×33.3cm)</p>	<p>紙本彩色</p>		<p>¥132,000</p>
<p>福崎翼 Fukuzaki Tsubasa</p>	<p>山賊</p>	<p>6F (31.8×41.0cm)</p>	<p>紙本彩色</p>		<p>¥143,000</p>
<p>福嶋さくら Fukushima Sakura</p>	<p>story of a stranger</p>	<p>4F (33.3×24.2cm)</p>	<p>綿布、アクリル絵具、糸</p>		<p>¥58,300</p>
<p>山内隆 Yamauchi Takashi</p>	<p>泉</p>	<p>H16.5×W7.0×D2.8cm</p>	<p>板、大理石</p>		<p>¥110,000</p>

\* 2024年12月現在の価格です

\* 作品のご購入価格の一部は寄付をさせていただきます。詳しくは別紙をご覧くださいませ

福

Projects

— 55th anniversary exhibition —

作家たちのコメント



晴れの日のお祝いに今年はピンクのバラを贈ります  
ピンクのバラの花言葉は「幸福」です。

すべての方々に幸福がありますように。

阿部ふみ

「花あふれる日」

6F (41.0×31.8cm)

全てが満たされている壺中天の景色を描いた。  
ままならない自らの小さな世界も、満ち足りている  
ことに気付ければ、何も羨むものがない安楽の世界  
へと変貌するのではないだろうか。

漆原夏樹

「瓢中満福図」

6P (41.0×27.3cm) / 紙本彩色 / 2024年





サルは魔術師です。  
世界と次の世界の間で、次の世界のクリエイション  
してます。

大島真由美

「Monkey Magic」

43.7×33.6cm、紙本彩色



一寸法師を主題とした日本人形をモチーフに描いた。  
中央の人物は、打ち出の小槌で大きく変身する一寸法師を見て驚く女性の姿である。背景に金箔とカシュで描いた渦巻き模様は物事の変容をイメージした。ギャラリー広田美術55周年を記念し、今後ますます発展、変化していく様子を象徴的に表現した。

狩野宏明

「打ち出の小槌とメタモルフォーゼ」

26.7×41cm／水彩、鉛筆、箔、カシュ、ミュー・グラウンド、綿布、パネル／2024年



普段のありふれた日々が訪れる事、それこそ幸せな事なのではと思います。

そんな日々がおくれるよう、想いを込めました。

神戸智行

「ふくはそこにあるよ」

6M (41.0×24.2cm) / 紙本彩色 / 2024年





干支である巳を重箱に見立て、お正月モチーフを詰め込んだ楽しい一枚です。

縁起物が溢れ出すイメージで、定番の富士山、鯛、ダルマ、梅の花などなど。

今回ほどたくさんのモチーフを組み合わせた作品は初めて制作しましたが、モチーフ単体だけでなく、集まることで協調する力を意識して制作しました。

北嶋勇佑

「しろへびとだるま」

6S (41.0×41.0cm) / 木版モノタイプ/油絵具、黒紙、洋金箔 / 2024年

戦隊ヒーローが物語の後半で敵と戦う際に、乗り物などが組み合わさりヒト型の巨大ロボットに形成する場面から着想を得て制作しました。

以前より制作のヒントにしている北米インディアンが作るトーテムポールにもひとつの制作物に複数の動物が混在しており、特に宗教的な存在ではなく、自身の身の回りのこと、言い伝えや伝説などの物語や文化が表現されています。

本作は図鑑に載っている動物や恐竜など幼少期から関心のあるモチーフを組み合わせ、人型ロボットに構成し、自身の制作の原動力である好奇心を象徴としてみました。

佐々木怜央

「Sense of wonder」

h40.5×w25×d15cm／ガラス





猫は「招き猫＝お金やお客を招く」、タコは「多幸」を表している縁起物の組み合わせになっています。

以前住んでいた山形県のご当地民芸品に相良人形というものがあります。

米沢市で江戸時代から作られているこの民芸品の中でも有名なモチーフで「猫に蛸」という猫の頭にタコが巻き付いたものがあり、今回はそこから着想を得て制作しました。

招き猫の中でも黒猫については魔除け、厄除けのご利益があるそうです。福を招いて、厄を退けるような作品になってくれればいいなと思って描きました。

財田翔悟

「タコと招き猫」

4F (33.3×24.2cm) / 綿布、ピグメント、岩絵具、アクリル絵具、硫酸カルシウム、箔、墨 / 2024年

テーマである「福」の文字そのものをモチーフにした制作を試みました。

始めは字形の強さに引っ張られてなかなかうまく行きませんでした。ふと画面を逆さまにしてみたら、描きかけの絵が何かから解放され、動き始めたように見えました。

そこから先は画面のリズムに反応しながら描くことができたと思います。

作品は逆さのまま、図らずも、中国の縁起物である倒福（dao fu=到福=福が来る）のような表現となりました。



寺内誠

「Dao Fu」

6F (41.0×31.8cm) / パネル、綿布、油彩



昔から人々は花に意味や気持ちを込めて贈ることをしてきました。

今回の作品では「幸せ」の意味を持つといわれる花やモチーフを集め、束ねるような気持ちで描きました。希望溢れる毎日が皆さまにありますように。

野崎慎

「花結ぶ」

4S (33.3×33.3cm) / 紙本彩色 / 2024年

カニは昔から神聖で縁起の良いものとさせてきました。

脱皮は成長、はさみは幸運を招いたり悪縁を絶つ、抱卵は子宝に恵まれる象徴、など。

お祝いごとの席にカニ料理が供されるのも幸運を願ってのことだと思います。

この作品では、たくさんのカニが力を合わせ、大きな福も小さな福も狩りに行く場面をイメージして描きました。

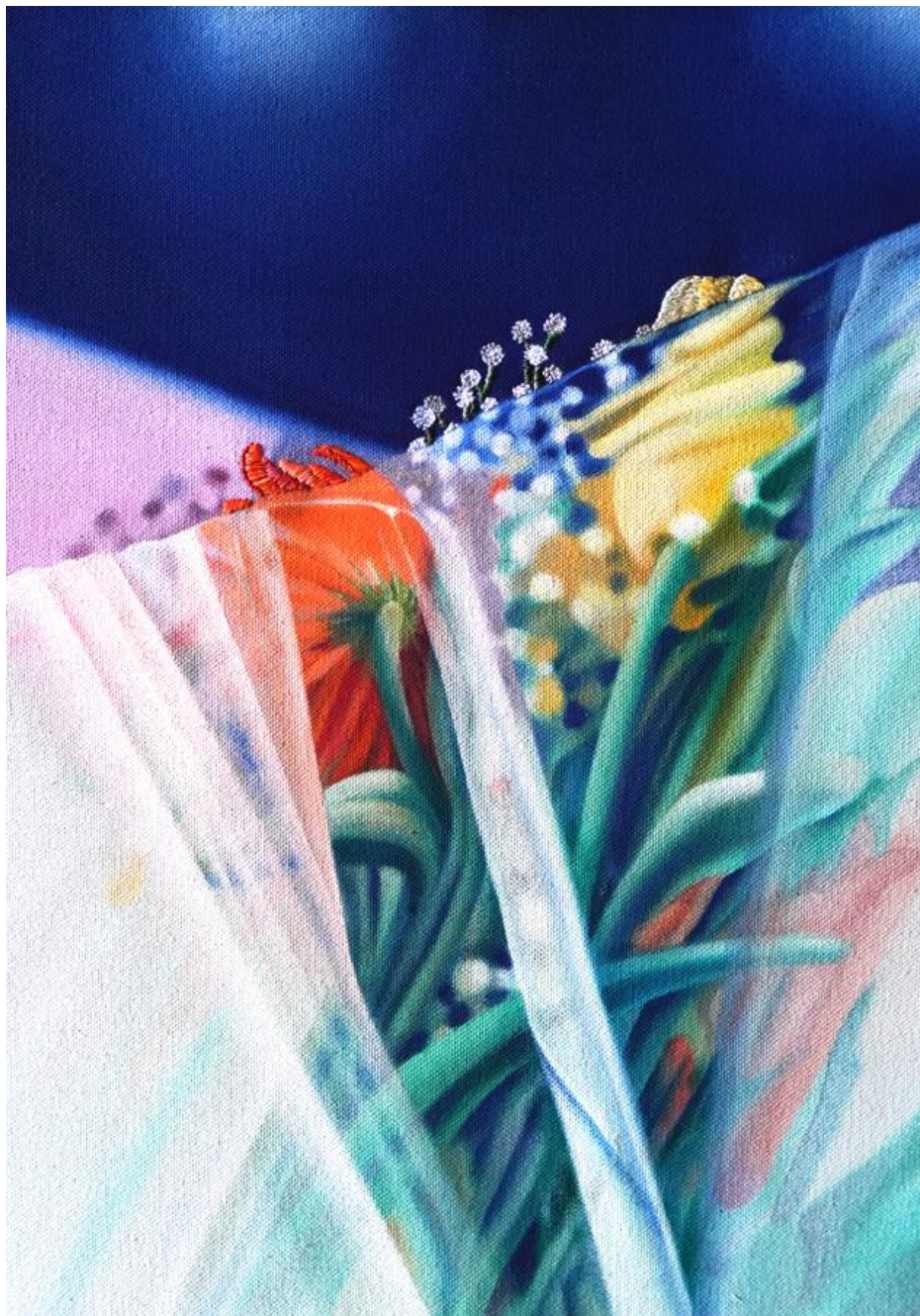
サンゴガニとツノガニがモデルです。

福崎翼

「山賊」

6F (31.8×41.0cm) / 紙、顔料、鉛筆 / 2024年





“花を贈る”ことには色々な意味合いが込められる。祝ったり、労ったり、弔ったり。

人から人へ、目に見える形で気持ちを伝えるツールだと思う。

電車を待つ駅のホームで、隣に立つ見知らぬ人の腕に収まっている花束が、贈るものなのか贈られたものなのか、どんな意味を持ったものなのか私には確認のしようがないけれど、その人のまなざしや大切そうに抱える仕草から、幸福な未来を想像してみる。

福嶋さくら

「story of a stranger」

4F (33.3×24.2cm) / 綿布、アクリル絵の具、糸 / 2024

ローマモザイクの伝統的な模様をもとに落下運動する水のフォルムを試作した。

制作途中でテッセラが半壊したため半壊部分をセメントで埋め、しばらく放置し再研磨を行ったところ意外な表情が現れた。

時折「災い転じて福と成す」や「残り物には福がある」といった言葉が、作品に反映されることがある。今回の制作もそれを実感した一例である。

山内隆

「泉」

(H)16.5、(W)7.0、(D)2.8cm／板、大理石／2024年

